

国道477号バイパス及び 新名神について

服部 富男 議員
(自民・無所属議員団／三重郡選出)

問

新名神高速道路菟野インターチェンジ(IC)の供用にあわせ、国道477号バイパスが四日市インターアクセス道路として整備されています。

現在、御在所岳や湯の山温泉に向かう道路は慢性的に渋滞し、行楽シーズンの土日には大渋滞です。国道477号バイパスから先の、菟野ICから湯の山に向かう道路の整備が重要と考えますが、整備に対する認識と進め方について伺います。

答

新名神高速道路の開通により、観光客の増加が期待されており、四日市インターアクセス道路から続く路線の整備が重要と考えています。

菟野ICから千草までの区間については、平成6年度に都市計画決定がされており、新名神高速道路の整備と歩調をあわせて調査を進めてまいります。

その他の質問事項

○「新しい時代の公」美し

国おこし三重 ほか



高齢者福祉の課題から

日沖 正信 議員
(新政みえ／いなべ市・員弁郡選出)

問

認知症の老人が徘徊し行方不明になった時、家族などは対処に悩み、世間に迷惑をかけたくないと考え、捜索の要請をどこへ、いつ、どのようにすべきか困ります。



行方不明時の対応マニュアルがあり、支援体制が構築されていれば、当事者にとって心強く不明者の早期発見につながると思います。市町や関係団体と連携し、支援体制の構築ができないでしょうか。

答

県内でもすでに住民、行政、警察等による連携体制を整備して取り組んでいる地域があります。

今後、県としても、モデル地域を定めて「徘徊SOSネットワーク」を構築し、早期発見や見守りといった取り組みの成果の普及をはかるとともに、「認知症サポーター」の養成に市町と協働で取り組むなど、安心して暮らせる地域づくりをめざします。

その他の質問事項

○地方財源問題 ほか

元気を出そう！ 中央卸売市場

竹上 真人 議員
(自民・無所属議員団／松阪市選出)

問

中央卸売市場の管理運営の効率化のため、地方卸への移行が進められていますが、指定管理者制度を同時に導入し、さらなる効率化を進め、場内事業者の家賃を下げるべきではないでしょうか。

また、現状の施設では大手スーパーの求める品質管理基準を満たせず、取り引きをしてもらえませんが、低温施設の早急な整備が必要と考えます。

答

民間経営ノウハウの活用や管理運営コストの削減が期待できる指定管理者制度の導入により、家賃を下げることも可能だと考えており、制度導入に向けて場内事業者との合意形成に努めます。低温施設の整備は生鮮食品の品質管理に必要であり、効果的な施設整備のあり方について場内事業者と調整を図ります。

その他の質問事項

○地域経済を活性化
する担い手は中小
企業である ほか



BSE全頭検査の継続

森野 真治 議員
(新政みえ／伊賀市選出)

問

食の安全安心に一段と関心が高まる中、牛海綿状脳症(BSE)検査については、国では月齢20カ月以下の牛はリスクが低いとして検査対象から除外し、来年7月末で国庫補助が打ち切られようとしています。



BSE検査の様子

三重県は松阪牛、伊賀牛といった有名ブランドがありますので、今後も全頭検査を継続すべきと考えます。

答

月齢20カ月以下の牛に對する検査を廃止しても、安全性に差がないとした評価が、国の食品安全委員会から示されています。

しかし、県民の食の安心や、松阪牛、伊賀牛といったブランドの信頼性を確保する観点から、県として来年8月以降も全頭検査を継続する方向で検討を行っています。

その他の質問事項

○福祉医療費助成制度 ほか